資料提供（平成２９年２月１６日）

担当　医務課　中村

電話　０７３－４４１－２６０３（直通）

和歌山県脳脊髄液減少症に関する研修会

脳脊髄液減少症の有効な治療法である硬膜外自家血注入法（ブラッドパッチ療法）が、平成２８年４月に保険適用されたところです。

今回、県では、医療関係者をはじめ、学校関係者や患者・家族の方などに、この病気に関する理解を深めていただくために本研修会を開催いたします。

**日　　時　　平成２９年３月３日（金）１４時～１６時**

**場　　所　　和歌山県民文化会館　５階　大会議室**

**住所　和歌山市小松原通一丁目1番地**

**電話　０７３－４３６－１３３１**

**内　　容　　〇　医療講演会**

**「脳脊髄液減少症の診断と治療（仮）」**

**講師　角谷整形外科病院　院長代行　太田　又夫　先生**

**（日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会専門医）**

**〇　体験発表**

**「脳脊髄液減少症について」（患者の立場から）**

**〇　情報提供**

**認定ＮＰＯ法人脳脊髄液減少症患者・家族支援協会**

**参加申込　　参加無料**

**別添申込書にて、２月２４日（金）までにＦＡＸでお申し込み願います。**

【脳脊髄液減少症について】

　脳脊髄液は、脳室内で産生され脳と脊髄の回りを循環することによって、脳や脊髄を守る働きをすると同時に、神経の活動によって産生される老廃物を取り除く役割を果たしています。

　この脳脊髄液が持続的ないし断続的に漏れ出すことによって、脳脊髄液が減少し、頭痛、頸部痛、めまい、耳鳴りなど、さまざまな症状を引き起こす疾患を脳脊髄液減少症といいます。

　脳脊髄液減少症の確定診断には、医師の診察のほか、画像診断によって脳脊髄液の漏出を確認することが最も信頼性の高い診断方法であるとされています。